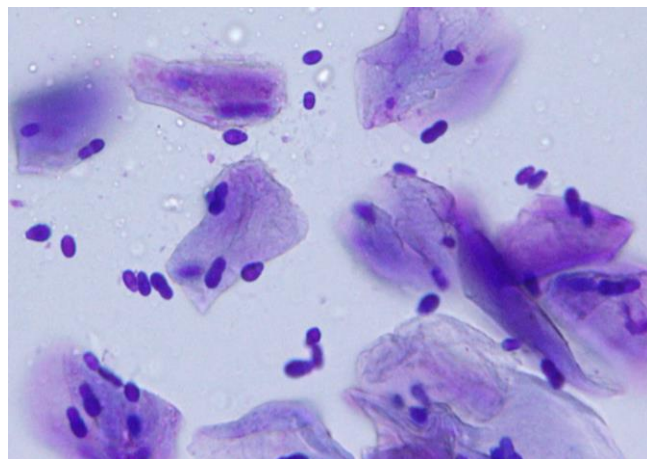


マラセチア性皮膚炎とは

マラセチアとは皮膚に常在しているカビの一種です。通常は悪さをしません。皮脂を栄養として過剰に増殖すると皮膚炎を起こします。

症状のある部位にテープを押し当てたり、耳に症状がある場合は耳垢を綿棒で採って染色をすると特徴的なピーナツ型をしたマラセチアが観察されます。(右写真)



《原因》

何らかの原因で皮脂が過剰になってしまうことでマラセチアが増殖します。

- アトピー性皮膚炎
- アレルギー性皮膚炎
- 脂漏症
- 甲状腺機能低下症
- 皮膚の外部寄生虫
- 細菌性皮膚炎 等

《症状》

- 痒み(耳、脇、内股、指間など)
- こげ茶色の耳垢
- 皮膚の色素沈着
- 皮膚のべたつき
- 皮膚が臭う
- 脱毛
- 皮膚の角化 等

《治療》

◆ 内科治療

抗カビ剤の内服薬を中心に治療します。

症状が局所だけの場合は外用薬での治療になる場合もあります。

耳に症状がある場合は点耳薬を使用します。

痒みが強い場合はかゆみ止めとしてステロイド剤を使用します。(痒みに応じて減薬します)

二次的に細菌感染を起こすことが多いため、抗菌剤も併用します。

◆ シャンプー療法

皮脂を落とし、皮膚を清潔に保つために週1~2回ほどシャンプーを行っていただきます。

マラセチア性皮膚炎に対応したシャンプー剤を使いますが、それだけだと乾燥してしまいかえって皮脂の分泌が過剰になってしまうため、シャンプー後は保湿も必要です。

◆ 食事療法

マラセチア性皮膚炎に直接的に作用する療法食はありませんが、基礎疾患に応じた食事療法を行うことで再発予防になることがあります。

皮膚のバリア機能を保ってくれるフードや ω -3脂肪酸を強化したフードが選択されます。

※マラセチア性皮膚炎は非常に再発しやすい疾患です。

特にアトピー性皮膚炎や脂漏症が基礎にある場合は、体質が大きく関わるため容易に原因を除去できず、繰り返し発症することがあります。

症状が落ち着いても治療完了まで投薬を続ける他、こまめなシャンプーなどのケアで再発予防をすることが必要です。